



熊本地震支援活動報告

～益城町の被災地～

9月30日(金)～10月2日(日)の日程で、熊本県益城町の安永仮設団地に於いて、支援活動を行いました。今回も西宮市社会福祉協議会との共同開催となりました。今回参加したスタッフ&ボランティアは6名で、熊本県庁前で前日から前入りしていたスタッフと合流し、益城町の安永仮設団地に向かい10時頃に到着しました。現地では、2007年に発生した中越沖地震の被災地である新潟県刈羽村から来られた社会福祉協議会の関係者4名をはじめ、熊本大学のハッ塚先生や大阪大学の学生さんなどと合流し、一緒に活動を行いました。

1日目は、集会所に於いて、カフェとお手玉やコマなどの昔遊びのプログラムを通じて、仮設の皆さんと交流させていただきました。午前中は打ち合わせや準備作業を行い、13時からプログラムを開始しました。13時30分頃から集会所に住民の方々が徐々に集まって来られ、刈羽村からのプレゼントとして、お米とお菓子、メッセージ付の手作りのコースターとストラップを受け取っておられました。(集会所に来られなかった方には戸別訪問でお配りしました) 皆さん、刈羽村からのプレゼントにとっても喜んでおられました。その流れで、カフェでお茶を飲みながらお話をされたり、お手玉やコマ遊びをされる方もいました。16時にはプログラムを終了し、解散となりました。

我々西宮組は阿蘇に宿舎を手配していたので、刈羽村の皆さんや熊本大学の先生とは一旦別れました。翌2日、西宮組はテクノ仮設団地と木山仮設団地に少し立ち寄ってから、安永仮設団地の集会所に向かいました。そこで、朝9時30分に全員が集合し、簡単に打ち合わせしたあと、準備作業を行いました。2日目も集会所でカフェを中心に13時から15時まで開催させていただきました。1日目は約30名の参加者でしたが、2日目は参加人数が少なくはなりましたが、とてもアットホームないい雰囲気でお話が出来ていたと思います。ただ、やはりこのようなカフェを開催しても、なかなか出て来られない方がいるので、そのあたりのことも今後は課題だと思いました。

震災からもうすぐ半年を迎えますが、自宅の再建や生活設計など、なかなか将来の展望が見えない状況の中で、個人個人の状況は違うけれど、心身の疲労の蓄積と、不安や悩みがどんどん大きくなってき

- c o n t e n t s -

- P 1 熊本地震支援活動報告
- P 2 熊本地震支援活動報告 / 前山小学校防災授業
- P 3 V I S I O N 1 1 7 / 災害ボランティア養成講座 / 西宮市総合防災訓練
- P 4 K S N プロジェクト / 野田村ファンクラブ / 上甲子園地区防災マップ検証会
. 西宮子どもキャンプ交流会
- P 5 津市民防災大学 / 田尻町防災キャンプ / 子ども防災クラブ / 佐用町訪問
- P 6 西宮子ども森林体験ツアー / 高木秋まつり / カレンダー市のお知らせ
- P 7 N うごき / N ごよみ
- P 8 N ごよみ (続き) / 会員・寄付者・募金者のみなさま / 寄付募集 / 編集後記

ているように感じました。ボランティアで支援できることは限られているかと思いますが、このような交流の場を通じて、ほんのひと時でも、ホッとしていただけの機会をつくっていただければと思っています。微力ながらこれからも関わられたらと思いますので、引き続きどうぞよろしくお願い致します。
(事務局)

【6月以降の活動報告】

活動内容(6月12日)

- ・訪問先：益城町(木山中学校)
- ・主な活動内容：ひまわりプロジェクト

活動内容(6月22日)活動報告会

- ・会場：西宮市民会館
- ・主な内容：西宮市社会福祉協議会と共催で開催。震災直後から現在までの活動紹介。

活動内容(7月29日～31日)

- ・訪問先：益城町・安永仮設団地
- ・主な活動：炊き出しおにぎり交流会

活動内容(8月14日～15日)

- ・訪問先：益城町・安永仮設団地
- ・主な活動：立ち寄りオープンカフェ

活動内容(8月26日～28日)

- ・訪問先：益城町・安永仮設団地
- ・主な活動：足湯カフェ 子ども縁日納涼祭

活動内容(9月16日～18日)

- ・訪問先：益城町・総合体育館
- ・主な活動：近畿ろうきん&近畿のNPOセンター企画で子ども支援関連の活動を担当

活動内容(9月30日～10月2日)

- ・訪問先：益城町・安永仮設団地
- ・主な活動：昔なつかしレクリエーションカフェ

尚、8月26日～28日、および、9月30日～10月2日の支援活動の経費については、兵庫県の「復興サポート事業」の支援金を活用させていただきました。



前山小学校防災授業

9月6日(火)、兵庫県丹波市にある前山小学校において、全校児童を対象に大阪大学災害ボランティアサークル「すずらん」の学生さんたちと一緒に防災授業を担当してきました。



1～2年生の授業では「ぼうさいダック」を、3～4年生の授業では「防災クイズ」を、また5～6年生には「クロスロード」をそれぞれ体験していただきました。昨年に引き続いての実施となりましたが、各学年とも一生懸命に参加してくれていました。大学生を含め私どもにとっても色々学ばさせていただくことが出来ました。お世話になりました前山小学校の校長先生および教職員の皆様をはじめ、生涯学習応援隊so-so.39の北村さま、ありがとうございました。(事務局)

VISION 117

中越地震から12年が経ちました。NVNADでは、子どもばかり3名が犠牲になった小千谷市塩谷集落との交流を続けております。今年も10月23日17時56分の追悼式にお伺いしてきました。慰霊碑の前にたくさんの関係者が集いました。関芳之区長から「こうして12年経っても皆さんに集まっていたただけに感謝します。きっと天国から見守ってくれていると思います」との挨拶があり、黙祷を捧げました。今年も、小千谷市にある震災ミュージアムそなえ館で開館5周年のフォーラムがありました。日本災害復興学会の中林会長の基調講演の後、中越の経験を熊本地震へとつないでいくことをテーマに、パネルディスカッションがありました。パネリストは、小千谷市で活動をしている皆さんで、塩谷集落で一緒に

ている立命館大学の山口洋典先生も、小千谷から熊本へと想いをリレーすることについて、ご自身の体験、活動を交えて報告されました。阪神・淡路大震災は、都市部の震災でした。また、東日本大震災は地震による津波の災害でした。熊本地震は、内陸部で発生し、中山間過疎地を含んでいます。だとすれば、熊本の被災地を教訓とともに積極的に支援できるのは、小千谷ではないかという指摘があり、支援活動のさらなる拡充に向けて決意を表明するフォーラムとなりました。会場には、翌日に退任を控えられた泉田知事(当時)も来訪され、小千谷市民の取り組みと、全国からの支援にエールを送って下さいました。2004年の新潟でのあの震災も徐々に風化しつつあるのかもしれない。しかし、小千谷での地道な取り組みが熊本へとつながっています。NVNADでも被災地間のこうしたつながりを大切にしながら、各地の皆さまと一緒に歩んでいきたいと思います。引き続き、どうぞよろしくお願い申し上げます。
(理事長 渥美 公秀)

災害ボランティア養成講座

西宮市社会福祉協議会との共催で、7月～9月に「災害ボランティア養成講座」を今年度初めて開催しました。「災害ボランティアとは」「災害ボランティアの役割と心構え」「防災ゲームクロスロード」などのプログラムを実施しました。受講生は30名で講座終了後に約15名の方が災害ボランティア登録をしてくださいました。災害時だけでなく、日頃の防災イベントなどでも活躍していただく予定です。(事務局)

11月1日(火)西宮市立中央体育館および陸上競技場にて、平成28年度西宮市総合防災訓練が行われました。陸上競技場では、土石流や津波により家屋や車が土に埋まった想定で自衛隊やレスキュー隊員による救出の訓練が行われました。また、救助犬による生き埋め者発見の模様や、自然水利から取水消火を行う消防隊員の迅速な行動も見られ、ドローンも飛び交い、本番さながらの緊張感が漂いました。一方、体育館では巨大地震から3日経過したことを想定し、ボランティアセンター立ち上げの訓練を行いました。



西宮市総合防災訓練



NVNADは西宮市社会福祉協議会と連携し、ニーズの聞き取りやボランティアとのマッチング、資材提供と送り出しまでを担当しました。ボランティアとして参加した看護学生さんは「まだ実際にボランティアをしたことは無いけど、自分が役に立てると嬉しい。」と言っていました。参加機関の訓練の場であるとともに、若い人達の意識向上につながることは大変有意義であると感じました。(事務局)



KSNプロジェクト（関西学院大学、西宮市社会福祉協議会、NVNAD3者が主催）の活動については、8月25日（木）流しそーめん＆科学実験、9月15日（木）保護者でランチ会、10月23日（日）開学で運動会、などを実施しました。11月以降も継続して活動を実施していきたいと思います。（事務局）



9月11日（日）、大阪の鶴見緑地公園にて、野田村ファンクラブ有志でバーベキュー大会を開催しました。岩手県野田村から取り寄せたしいたげやカボチャなどの食材を使って行いました。また、学生さんたちが手作りした野田村での活動写真のアルバムを見ながら、参加者同士の交流を深めました。今後も定期的に活動を行っていければと考えています。（事務局）

上甲子園地区防災マップ検証会

9月27日（火）上甲子園地区防災マップ検証会が上甲子園センターで開催されました。

前回の「災害図上訓練・検討会」の後、「まち歩き」をしていただき、実際に確認した情報をもとに作成された地図を見ながら「防災マップ検証会」を実施しました。

この地域で最も危惧される「武庫川の氾濫」を想定災害(テーマ)に、地区自主防災会の方々による活発な意見交換が行われ、よりよい防災マップを作ろうとする熱意が感じられる会でした。

地域の正確な情報が満載の、役立つ防災マップが完成することと思います。（事務局）



西宮子どもキャンプ交流会

「ぼうさいをまなび、
うちの人にも伝え、
災害にそなえて、
一生懸命学ぼう」



8月3日(水)～4日(木)、子ども防災クラブの第1回目の行事として、兵庫県佐用町の南光自然観察村で、1泊2日のキャンプ交流会を行いました。

1日目のプログラムは、佐用町水害の状況や森林整備のお話などを聞いた後、テント設営、川遊びをし、グループ対抗カレー作り、飯盒でご飯を炊く経験などをしました。

2日目は、朝食を食べてから、うちわに防災関連の絵を描いたり、竹炭石鹸づくりや川遊びをしました。子どもたちは大自然の中で「みんなと協力する」「自分の役割を果たす」「水害や防災などについて学ぶ」ことを身体で体験し、色んなことを学んでくれたのではないかと思います。多大なご協力をいただいた学生リーダーのみなさん、本当にありがとうございました。（事務局）



津市民防災大学

10月15日(土)、三重県津市で「津市民防災大学」が開催され、『タウンウォッチング&災害図上演習』を担当してきました。受講生は4つのグループに分かれ、午前中は津市のまちを歩きながら、病院の免震構造や市役所地下の緊急時の発電設備など、災害に関連のあるいくつかのチェックポイントを見学させていただきました。昼からは、川の氾濫を想定し、避難行動について考えていただき、最後に発表していただきました。どのグループも防災に対する意識がとても高く、熱心に取り組んでおられたのが印象的でした。実行委員の皆様、お世話になりました。(事務局)

田尻町防災キャンプ

10月22日(土)~23日(日)、田尻町立小学校にて、たじり子ども防災キャンプ実行委員会(事務局:田尻町社会福祉協議会)主催で「子ども防災キャンプinたじり」が開催されました。小学生の中からジュニア防災リーダーを育成するのが目的で、2日間にわたり応急処置や放水訓練、まち歩き&防災マップ作成と翌日の防災訓練での発表、自炊や体育館での宿泊など、様々なプログラムを体験していました。我々の団体も、まち歩きや防災マップ作成を中心にプログラムに関わらせていただきました。プログラムの中に「もらい湯」というものがあり、ご近所のご家庭でお風呂に入れていただくというものですが、田尻町ならではのとても素敵な取り組みだと思いました。(事務局)



第3回子ども防災クラブ

10月22日(土)、高木小学校で「子ども防災クラブ」第3回の活動を行いました。フルーツバスケットの応用編で「防災バスケット」。椅子で円形を作って座り、真ん中に立ったオニ役の人が防災クイズを出題します。答えは三択で、正解できなかった人が動き、空いた椅子を探すというゲームです。時には真剣にクイズに取り組み、時には賑やかに走り回り、ワイワイ楽しみながら、14問の問題に取り組みました。頭と身体を使って防災について学ぶという初の取り組みでしたが、子ども達は元気に楽しんでくれたようです。ご協力いただいた大学生リーダーの皆さん、どうもありがとうございました。(事務局)



佐用町訪問



10月30日(日)兵庫県佐用町を訪問しました。いつもチャコネット(佐用町学生支援ネットワーク)と一緒に開催していますコミュニティカフェで、住民の方々とお話をさせていただきました。10月21日に発生した鳥取地震では、距離が比較的近いということで佐用町でも大きな揺れを感じたそうです。水害だけではなく、地震のことについても関心が高まっているように感じました。(事務局)

西宮子ども 森林体験ツアー

10月29日(土) ささやまの森公園にて「西宮子ども森林体験ツアー」を開催しました。

午前中は、森の中で植物や生物などを探し、自然を肌で感じながらネイチャーゲームを楽しみました。前日の雨によるしっとりした空気の中、普段見ることのない珍しいものも見つけ、子どもたちは歓声をあげていました。午後は、森の中に入って間伐体験をしました。森の手入れをしなければ太陽の光が地面に届かず弱い木が育ち、土砂崩れなどの災害につながるという説明があり、子どもたちは間伐の重要性を感じた様子でした。実際にのこぎりで木を切る難しさを体験し、指導員の方の手際の良さに改めて感心していました。

この森林体験ツアーを通じて、自然環境の大切さや森と災害との関係などを学んでもらえたのではないかと思います。ささやまの森公園の指導員の皆様、ボランティアのみなさま、ご協力いただきありがとうございました。(事務局)



高木秋まつり

10月9日(日)、西宮市の高木公園にて恒例の高木秋まつりが開催され、当団体も参加し、熊本地震の被災地である熊本県益城町の支援活動風景の写真の展示と、魚釣りゲームを実施しました。

おまつりの開始前からたくさん子どもたちが会場に集まってきました。当団体の魚釣りゲームや金魚すくい、輪投げなどの遊びブース、あるいは、焼きそばや綿菓子などの飲食ブースなど、様々なお店が並んでいて、子ども同士や親子連れなどで会場内はとてにぎわっていました。高木地区の皆様の団結力は素晴らしいと思いました。お手伝いいただいた学生やボランティアの皆さん、ありがとうございました。(事務局)



2017年！恒例のチャリティーカレンダー市開催のお知らせ

開催日 2017年1月7日(土)・8日(日)・9日(月・祝)の3日間
10:00~18:00(但、9日は14:00まで)

会場 西宮市役所東館8階大ホール

その他詳細につきましては、決定次第ホームページやブログなどでお知らせします。

「カレンダー市の趣旨」

皆様から頂いたカレンダーを販売する好評のチャリティーバザーです。売上金は、国内外の災害(東日本大災害、熊本地震、佐用町水害ほか今後の災害)に対する支援活動の直接費・間接費の費用として使用させていただきます。(事務局)

Nうごき

NVNADの活動をお知らせするコーナーです。

8月

- 20日 第2回災害ボランティア養成講座（西宮市）
- 25日 KSNプロジェクト「学習会」（西宮市）
- 26～28日 熊本地震支援活動（熊本県益城町）

9月

- 5～6日 前山小学校授業（兵庫県丹波市）
- 10日 第3回災害ボランティア養成講座（西宮市）
- 11日 野田村ファンクラブ交流イベント（大阪市鶴見緑地）
- 16～18日 熊本地震支援活動（熊本県益城町）
- 23日 尼崎防災マップ作成会「尼崎12連協」（兵庫県尼崎市）
- 27日 上甲子園地区防災マップ検証会（西宮市）
- 30～10月2日 熊本地震支援活動（熊本県益城町）



10月

- 9日 高木秋祭りに参加（西宮市）
- 14日 NVNAD理事会（西宮市）
- 15日 津市民防災大学第2回講義（三重県津市）
- 22～23日 小学4～6生防災授業「キャンプ」（大阪府田尻町）
- 22日 第3回子ども防災クラブ（西宮市）
- 23日 KSNプロジェクト（西宮市）
- 29日 西宮子ども森林体験ツアー（兵庫県篠山市）
- 30日 佐用町訪問（兵庫県佐用町）

Nごよみ

今後の予定・講演などのスケジュール

11月

- 1日 西宮市防災訓練（西宮市）
- 3～5日 郡山市訪問（福島県）
- 13日 防災ふれあいウォーク（西宮市）
- 13日 第1回災害ボランティアコーディネーター養成講座（三重県伊勢市）
- 17日 ニュース .109発行
- 19日 第2回災害ボランティアコーディネーター養成講座（三重県伊勢市）
- 23日 災害ボランティア養成講座「入門編」（大阪府岬町）
- 26日 KSNプロジェクト学習会（大阪府）
- 27日 佐用町訪問（兵庫県）
- 30日 ボランティアブラザ研修会（兵庫県）

12月

- 2日 災害ボランティア養成講座「レベルアップ編」（大阪府岬町）
- 3日 市川市「災害ボランティア講座」（兵庫県）
- 5日 ぼうさい探検隊本審査会（東京都）
- 8日 近畿ろうきん但馬支店研修会（兵庫県）
- 10日 よどがわ防災まつり（大阪府枚方市）
- 12日 柏原市災害ボランティアコーディネーター養成講座（大阪府）
- 13日 大東市災害ボランティア講座（大阪府）
- 14日 八尾市災害ボランティア講座（大阪府）
- 17日 第4回子ども防災クラブ（西宮市）
- 22日 KSNプロジェクト交流会（兵庫県西宮市）
- 25日 佐用町訪問（兵庫県）

1月

- 7～9日 第21回チャリティカレンダー市（西宮市）
- 14日 はらっぱ保育所震災関連イベント（兵庫県）
- 15～17日 1.17事業

- 21日 ぼうさい探検隊マップコンクール(東京都)
 28日 第5回子ども防災クラブ(西宮市)
 29日 カエル大キャラバンに参加(神戸市JICA)

2月

- 17日 ニュース .110発行
 18日 天王寺災害ボランティア講座(大阪市)
 25日 ふれぼのイベント(兵庫県西宮市)
 26日 西宮コミュニティ協会講演会(兵庫県)



～ 会員・寄付者・募金者のみなさま～

継続会員のみなさま(2016年8月1日～2016年10月31日)

個人正会員:「継続」植木 和夫、佐々木 真次、山岸 裕吉、山岸 のぶ子、奥田 和子
 米山 大吾

個人賛助会員:「継続」柴藤 成利、掛水 須美枝、御船 鋼、渡辺 英子

寄付者のみなさま(2016年8月1日～2016年10月31日)

「一般」:近畿ろうきんNPO寄付システム契約者の皆様、掛水 須美枝、シバヒロシ
 奥田 和子、ソフトバンクかざして募金(寄付者)の皆様

募金者のみなさま(2016年8月1日～2016年10月31日)

「東日本大震災」グッドスナカヤマヨシ

「平成28年熊本地震」池田 秀樹、高木秋まつりにご来場の皆様、梶 昌代、ヤマウラマコト
 山岸 春治、NPO法人保育ネットワーク・ミルク 理事長 小泉 雅子
 萩野 茂樹、タンゴアルヘンティアーノ三重、今西 肇

ご協力いただいたみなさま

株式会社高山堂

(順不同、敬称略)

ご支援、ご協力ありがとうございました。

尚、振込み頂いた方につきましては、振込名でご紹介させていただきましたのでご了承下さい。

NVNADを支えて下さい

当団体は、災害救援支援活動や防災まちづくり活動、ネットワーク活動、災害についての講演、講座、セミナーなどの活動を行っております。皆様から頂いた寄付は、この活動を継続していくために役立ててまいります。ぜひともご支援・ご協力いただきますようお願い申し上げます。

(振込銀行)

三井住友銀行西宮支店 普通 .7833406

名義 特定非営利活動法人 日本災害救援ボランティアネットワーク

尚、当団体は、認定NPO法人ですので、いただいた寄付金は、税制優遇を受けることができます。この場合住所と連絡先をお知らせ下さい(事務局)

編集後記

10月21日(金)鳥取地震が発生しました。西宮市役所の8階で防災訓練の会議中でした。一斉に携帯にエリアメールが流れ、会議室は一時騒然となりました。その後、すぐに揺れを感じました。日本各地で地震の発生頻度が高くなってきているように感じます。まずは備蓄食の準備など、身近に出来るところから始めましょう。(H・T)

認定特定非営利活動法人 日本災害救援ボランティアネットワーク[NVNAD]

〒662-0854 兵庫県西宮市櫛塚町2番20号 西宮商工会館南館 TEL0798(34)9011 FAX0798(34)9022

http://www.nvnad.or.jp/ 発行人:渥美公秀 編集人:伴美代子